

市史資料室だより

発行 秦野市教育委員会 生涯学習課文化財班（市史資料室）
TEL 0463-83-8380 FAX 0463-83-8381
E-mail sisi@city.hadano.kanagawa.jp

平成 24 年 6 月発行
第 7 号
〒 257-0042
秦野市寿町 3 番 12 号
(はだのこども館内)

地名から大根地区をながめる その二

～大根地区・仮称 後田用水～

秦野市東部に位置する南矢名は大根地区の玄関口である東海大学前駅（旧・大根駅）を擁し、その南口を出るとロータリーと大通りとがあり、その街並みはまさに中心街の様相となっている。

普段は学生でごった返しているこの駅前が、かつては「後田（うしろだ）」と呼ばれた水田の広がるのどかな場所であったことをご存じではない方も多いただろう（図 1）。このコーナーでは、その「後田」を流れていた名もなき一本の用水路の変遷からこの街の変遷をたどってみたいと思う。

大根の水田地帯

前述の水田地帯は現在の町名で言うとはほぼ南矢名一丁目とその周辺部にあたり、ここは南西方向から大根川、北西方向から田中川、北東方向から塩河内川が流れ、北には尾崎¹（おさき）という丘がある湿地帯であった。

この三本の川からの豊富な水でこの場所は潤っていたかのように思えるが、後田あたりは川の水位から少しだけ高い所に位置していたため水を引くことができなかつたためか、田中川から後田を經由し塩河内川へバイパスする水路が作られたようである。後田という名も「水が揚げられない、奥まったところにある」などの理由でつけられた名であるようにも見える。この水路には名称はないようだが、ここでは便宜上「後田用水」



図 1：江戸期の絵図「宇し路田（うしろだ）」の地名が見える



図2：現在の駅前と後田用水の推定流路 太い点線が後田用水

るからであり、塩河内川との合流点ⁱⁱⁱが近くなると再び水路の形に戻り、塩河内川に合流する（図4）。つまり田んぼそのものが用水路であり、これが明治期からしばらくの間の後田用水の姿である。

昭和期に入ると現在の小田急線が開通し、まばらながらも駅前に人家などが建ち始め、時期が下ると徐々に商店なども見られるようになってきた。その頃からか、おそらく水田の宅地転換によって田んぼから田んぼへ水を受け渡していくそれまでの仕組みでは不十分になってきてしまったために水路を設けそこに水を流すようになったのだろうと推測できる。

図3：取水部 左側を下って行くのは田中川、左下に少し見える川が大根川（水色が水路、赤色は道）

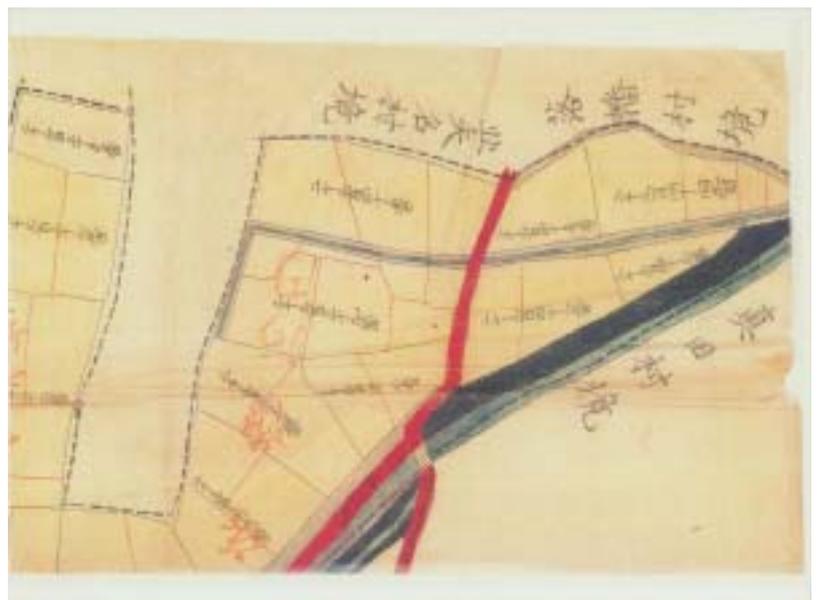


図4：合流部 L字型になっている水路が後田用水。塩河内川はその北側の村境あたりを流れる

という仮名称をつけて呼ぼうと思う（図2）。

後田用水の歴史

この後田用水は明治10年頃の大絵図にはその原型が既に現れている。田中川が小田急線と交差するところよりやや上流側ⁱⁱにはじまり、しばらく流れたところでその姿を一旦くらましてしまう（図3）。これは棚田の水利のように田んぼから田んぼへ水を流す仕組みを取っている

その後、高度経済成長期を迎え、さらに昭和 38 年には隣接する平塚市金目地区に東海大学湘南校舎が開設されたことにより大根は急速に発展していった。その他の都市でも都市化とともにそれまであった川や水路が暗渠になったり埋め立てられたりしたが、この後田用水も例外ではなくまず下流にある L 字型の合流部が昭和 40 年代半ばに埋め立てられ、続いて中間部も昭和 50 年代末に蓋掛けされて暗渠となった。

その後しばらく大根の歴史において後田用水が登場することはなかったが、平成 20 年代初頭に南口ロータリーを新設する際に水が湧いて難工事を強いられたとの話があり、この工事箇所は後田用水の進路上にあったことから何らかの関係があったとしても不思議ではないと思う。

後田用水の現在

では、この後田用水は跡形もなく消えてしまったのかというと決してそうではなく、現在でも中流部分は大通りの裏に蓋がかけられただけの状態で現存している（写真 1）。

時代によって姿を変えつつこの街を見守り続けてきた後田用水は、この場所がのどかな田園地帯だったことを現在でも我々に語り続けているのかもしれない。



写真 1：路地裏の後田用水 一部には手すりなどが残っている

ⁱ 「オ」は「山や丘のすそ」の意味、「サキ」は「先端・手前」などの意味で「丘陵地の先端」のような意味か。現在の東海大学前駅が建っている丘。

ⁱⁱ 大絵図では南矢名 2300 番地先

ⁱⁱⁱ 同じく大絵図では南矢名 2344 番地先

秦野市教育委員会 教育部 生涯学習課 文化財班（市史資料室）；
東海大学大学院 文学研究科 文明研究専攻 博士課程前期一年 宇田川 大介

活動紹介



歴史資料展 秦野の絵図
 平成 23 年 12 月 7 日
 ～平成 24 年 1 月 6 日
 南公民館 2階展示スペース
 及び1階ロビー



ミニ資料展
宗教地としての弘法山
 平成 24 年 2 月 15 日～3 月 15 日
 市史資料室入口通路
 (はだのこども館内)



秦野の災害写真展
 平成 24 年 3 月 6 日～3 月 31 日
 渋沢公民館 1階ロビー
 平成 24 年 4 月 4 日～5 月 6 日
 南公民館 1階ロビー



本町地区の町並み探訪
—蔵Ⅱ
 平成 24 年 3 月 17 日
 元町、本町 3 丁目、
 本町 2 丁目、本町 1 丁目



髭僧の滝と
御師の村を訪ねて
 平成 24 年 3 月 20 日
 御師集落跡、髭僧の滝、
 大日堂、緑水庵ほか

★これからのもよおし★ 『はだの史・発見展』



はだの葉たばこ
 平成 24 年 7 月 1 日～7 月 31 日
 南公民館 1階ロビー
 秦野の発展を支えた葉たばこ耕
 作について紹介します。



おじいちゃん、おばあちゃんが
こどもだったころ
 平成 24 年 8 月 1 日～8 月 31 日
 市史資料室入口通路
 (はだのこども館内)
 昭和 30 年頃のこどもの姿を捉え
 た写真展です。自由研究のヒント
 になるかも！



秦野の災害写真展
 平成 24 年 9 月 1 日～9 月 13 日
 本町公民館 1階展示スペース
 平成 25 年 3 月 1 日～3 月 31 日
 東公民館 1階ロビー
 関東大震災や東日本大震災、台
 風などによる秦野の災害写真約
 30 点を展示します。

市史資料室には、皆さんのちょっとした疑問に答えてくれる、秦野の歴史や自然に関する本をはじめ、神奈川県史や県内・県外の自治体史などが数多く揃っています。

本の閲覧や貸し出し、秦野市史刊行物の販売などを行っています。どうぞお気軽にご利用ください。
土日・祝日も開室しています。
 (第二月曜日と年末年始はお休みです。)

